

【今後の課題（現在のもの）の見え直し修正】

芦屋市立美術博物館運営基本方針

4 今後の課題

(1) 入館者数の増加リピーターの確保

- ・話題性のあるり、魅力的な展覧会・ワークショップ等の開催
- ・来館者のリピーターを増やすための方法や手段を検討する。特典の検討や観覧券の販売窓口の拡大を検討し市民の利便性の向上を図る。

(2) 高齢者・障がい者への取り組み

- ・高齢者・障がい者に配慮した展示を検討し、高齢者・障がい者が来館しやすい取り組みを進める。

(3) 交通アクセスの改善

- ・美術博物館にとってアクセスの分かりやすさや周辺環境の快適性は重要であり、所在場所が容易に見つけられるような案内表示道路標識・案内等の周辺整備を進めるため、関係機関との連携を図る。

~~(4) スタンプラリーの検討~~

~~—— 近隣の文化施設と連携したスタンプラリーの実施や共通チケットの発行を検討する。——~~

(5) ボランティアの育成制度の導入

- ・美術博物館で活動するボランティアとして活動したい人を対象に、短期の講習を経てボランティアの育成を図る。

~~(6) 友の会組織の検討~~

~~美術や歴史に関心を持つ人々の鑑賞の便宜を図り、会員相互の親睦を深めるとともに、美術博物館活動を援助する会の創設を検討する。~~

(7) 施設の有効活用の検討

- ・コンサートや講演会など、多目的な施設としてのさらなる有効活用を検討する。